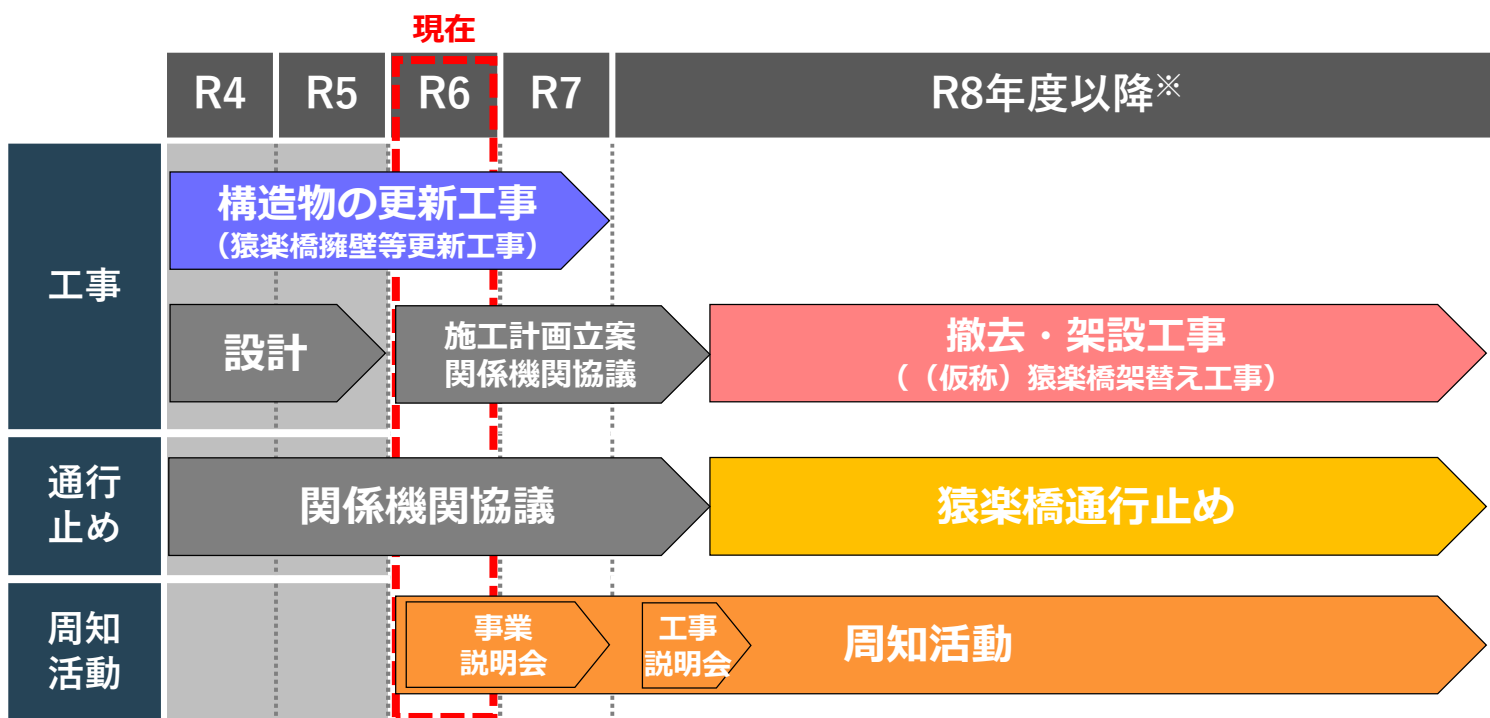


■ 工事における安全・環境対策

- ・ 交通誘導員の配置、看板及び保安柵を設置することにより、安全確保に努めます。
- ・ 低騒音型・低振動型の建設機械や防音シートを使用し、騒音振動を抑制します。
- ・ 清掃や散水を徹底し、工事現場の環境対策に努めます。

■ スケジュール

- ・ 今後は鉄道事業者及び交通管理者等の関係機関と調整を行い、効率的な施工計画を立案するとともに、全面通行止め期間を最小限に抑えるよう計画していきます。
- ・ 事業説明会を複数回実施し、区公式ウェブサイト「渋谷区ポータル」やSNS等を活用して、長期の通行止めによる影響や迂回路について丁寧な周知を行います。
- ・ 学校、警察及び消防等の関係各所と情報共有を図り、円滑に事業を推進します。



※詳細につきましては、鉄道事業者及び交通管理者との協議実施後に決定します。

■ 周知活動

事業説明会、渋谷区ポータルやSNS等を活用して積極的な情報発信に取り組みます。また、工事着手前に工事説明会を開催し、工事内容、通行止め及び迂回路等についてご説明します。

詳しくは渋谷区ポータルにてご確認ください。



渋谷区ポータル
猿楽橋についてはこちら

■ 問合せ先

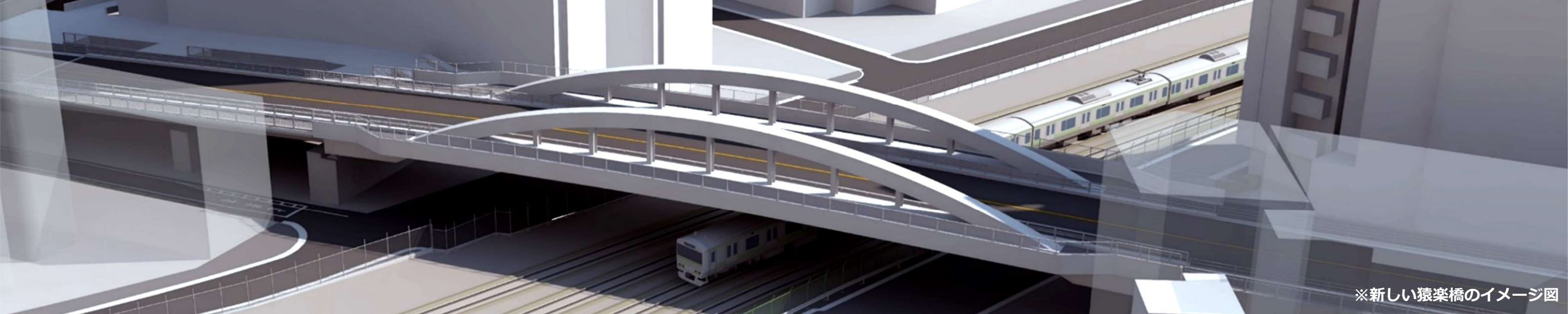
〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号
渋谷区 土木部 緑道・道路構造物課 道路構造物係
電話：03-3463-3155（ダイヤルイン）
メール：sarugakubashi@shibuya.tokyo
開庁時間：午前8時30分から午後5時00分
(土曜日、日曜日、祝・休日及び12月29日から1月3日を除く)



※新しい猿楽橋のイメージ図

猿楽橋架替え事業

令和6年9月
渋谷区土木部緑道・道路構造物課



※新しい猿楽橋のイメージ図

■猿楽橋架替え事業の概要

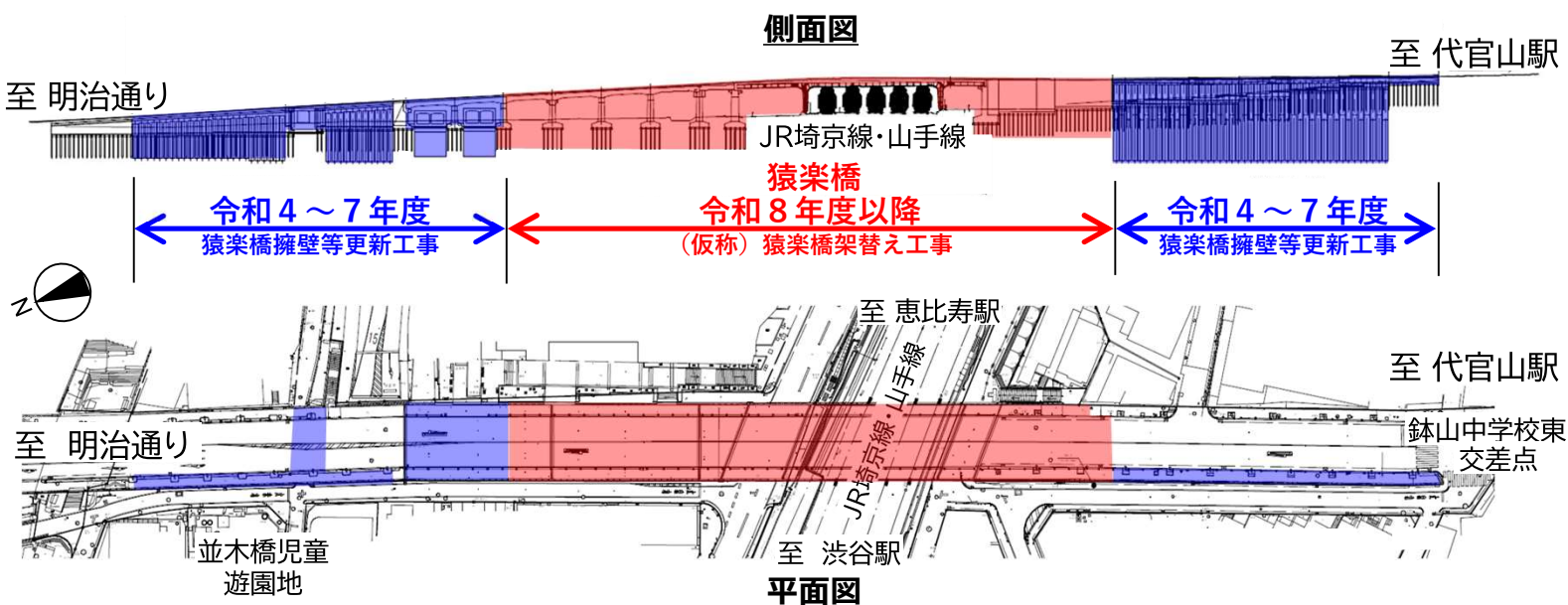


案内図

猿楽橋は、ＪＲ埼京線・山手線と道路を跨ぐ橋で、昭和９年に竣工してから約９０年が経過しています。竣工当時に比べ、車両の大型化、通行台数の増加及び老朽化への対応や耐震性の確保が必要となっています。

このような中、平成２８年度から有識者を交えた「猿楽橋検討会」を開催し、令和２年２月に「猿楽橋長期計画」において架替え事業の推進を決定いたしました。

令和４年度から、猿楽橋の前後区間にある、下図の青い範囲の擁壁やトンネル等の構造物の更新工事を実施しており、令和７年度に完成予定です。その後、令和８年度以降に下図の赤い範囲の猿楽橋の架替え工事を実施予定です。

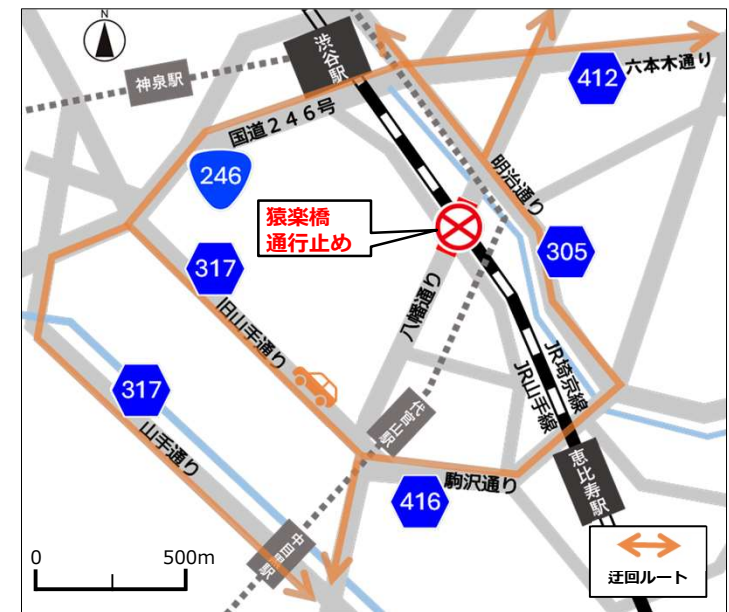


■新しい猿楽橋

新しくできる橋は、歩道幅員２メートル以上の確保や自転車通行空間の整備、耐震性の確保により、安全で歩きやすい橋になります。更に、維持管理が適切かつ容易にできるよう工夫し、２００年供用できるような橋を目指します。

■架替えに伴う通行止めと迂回路

ＪＲ埼京線・山手線は早朝から深夜まで運行があるため、作業時間が終電後から始発前までの深夜２時間程度に限られます。また、猿楽橋の周辺は建物が密集している場所であるため、施工スペースの確保に制約を受ける等、著しく厳しい施工環境です。このような条件の中、鉄道の運行に支障なく、安全に施工するため、令和８年度以降に予定している猿楽橋架替え工事では**１０年以上の全面通行止めが発生します**。全面通行止めに伴う迂回路については、下図のとおり想定しておりますが、引き続き、関係機関と協議してまいります。



自動車迂回路図（案）



歩行者迂回路図（案）



渋谷駅南跨線人道橋

午前４時頃から午前１時頃まで歩行者通行可能



四反道跨線人道橋

令和４年度から令和１０年度まで架替え工事中
工事中においても歩行者通行可能